

有志舎の新刊です。2022年7月下旬刊行

近代中国の国家と商人

—税政と同業秩序のダイナミクス—

金子 肇 著

A5判・ハードカバー・450ページ 本体価格 7,800円

現代中国经济に大きな影響を与えている同業組合とは？ 近代中国の歴史を、税政に視点をすえて
国家と同業団体がおりなす対立と共棲のダイナミクスから描き直す。

【目次】

序章 問題の提起—近代中国の税政と同業団体—	第6章 脱税事件と行政裁判
第I篇 清末・民国前期の税政と政治変動	第7章 税の近代化と商慣習
第1章 徴税請負と同業団体	第8章 税収確保と帳簿検査
第2章 徴税請負と官商関係	第III篇 人民共和国成立期の税政と同業秩序
第3章 国民革命と政治選択	第9章 同業秩序の政治化
付章 武漢の商民協会と中小・零細商工業	第10章 同業団体に依存する徴税
第II篇 民国後期の税政と同業秩序	第11章 組織される徴税
第4章 同業団体の再編とギルド的秩序	結章 税政と同業秩序をめぐる対立と共棲
第5章 規制と攪乱	

〈著者紹介〉金子 肇（かねこ はじめ）：1959年生まれ、広島大学大学院教授、中国近現代史専攻。

～版元から～ 中国では、改革開放以来、企業家を会員として同業で協力し合う同業組合＝「行業協会」が復活し、中国经济に大きな影響を与えつつあります。中国の同業組合は、清朝末期から中華民国期・中華人民共和国成立初期に生成・発展し、歴代の政府は同業組合に税の徴収を請け負わせてさいました。しかし、こうしたものは、中国共産党による急激な社会主義化によって、1950年代後半にいったんは消滅していたものでした。復活している同業組合とは一体何なのか？ 現代中国の国家・経済のあり方を考えるためにも、歴史的な視点から国家と同業組合との関係を考察していく必要があるのではないのでしょうか。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	近代中国の国家と商人 —税政と同業秩序のダイナミクス— 金子 肇 著 A5判・ハードカバー、450ページ 本体価格 7,800円	中国史（近現代）
	ご担当	ISBN 978-4-908672-58-3 C3022	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊	

ご注文は (株)JRC へ

返品条件付注文です。

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230